

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 土木部参事（建築住宅課長） 藤原 博 電話番号 0852-22-5216

事務事業の名称	住まい情報提供事業	
目的	(1) 対象	住宅の建築・リフォーム等を計画している県民、及び県外在住のUターン希望者
	(2) 意図	個々の多様なニーズに合った住まい・暮らしを実現する。
事業概要	島根県内の住まい情報を一元化したホームページを作成し、インターネットによる情報提供を行う ホームページ開設及び運用：（一財）島根県建築住宅センター 情報提供依頼者：県（地域振興部及び土木部）、（公財）ふるさと島根定住財団、（一財）島根県建築住宅センター 提供情報の概要：①住まいを作るための情報 ②住まいを借りるための情報 ③Uターン者向けの住まい情報 ④住まいに関する相談窓口 ⑤空き家に関する情報	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	ホームページへのアクセス件数	目標値	28,000.0	29,000.0	30,000.0	31,000.0	件
	式・定義	実績アクセス件数/目標アクセス件数	取組目標値					
			実績値	27,322.0				
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	5,440	5,409
うち一般財源 (千円)	2,720	2,704

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

定住財団のホームページ見直し時に、定住財団の提供するUターン者向け住情報の提供をリンクを張ることにより建築住宅センターのサイトから行うことにした。従前から建築住宅センターで行っていた住情報の提供サイトと一元化したことにより、アクセス数が増加している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

Uターン情報を求めて定住財団のホームページにアクセスした人が、リンク先の建築住宅センターのサイト内に入り、Uターン向け住情報だけでなく住まいづくり情報も閲覧したことによりアクセス数が増加した。  
また、住まいづくり情報のうち、省エネルギー分野の大幅な見直しにより、住宅の省エネに興味を持つ人からのアクセス数が増加した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

情報量の増加に伴い、ウェブサイトの読み込みに時間が掛かり、閲覧ページの表示が遅くなっている。  
Uターン情報、住情報の混在により、サイトの全容が判り難くなっている。

②困っている状況が発生している「原因」

ホームページ上のデータが全般的に大型化していることが考えられる。  
ホームページ構成が煩雑化していることが考えられる。

③原因を解消するための「課題」

提供するデータの大きさを再点検し、全体ボリュームを少しでも落とすことが必要と思われる。  
閲覧者の要求レベルに応じた階層的な構成にして判り易くすることが必要と思われる。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

閲覧者のニーズを把握し、求めているページのアクセスを容易にするため、見やすさを重視した構成にする必要がある。  
更なる内容の精査を行い、ウェブサイトの読み込み速度を上げて、快適な閲覧環境にする必要がある。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）